

緑のセンターだより

NO.105 平成19年12月1日発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

桐

ゴマノハグサ科 *Paulownia tomentosa* (キリ属)

高貴な樹木として知られるキリは高さ10~15mの落葉性高木で、古くから日本各地で栽培されています。大分、宮崎、島根、富山や静岡県などに野生化したキリが見られるものの、日本に野生していたかは定かでなく、野生地は中国の揚子江にあり、古く日本にもたらされたと言われます。原産地も諸説あり朝鮮のウルルン島や九州原産とする説もありますが中国中部と考えられています。日本では北海道南部以南に植栽され、とくに福島県の会津桐、岩手県の南部桐(岩手県の県花)など有名で、道央圏でも望郷樹として植えられたものがまれに見られます。また中国桐や台湾桐として輸入されていますが日本桐に比べ柔らかすぎたり、光沢に乏しく材質的に劣ります。

葉は長い葉柄があり対生し、広大な広卵形で日本では最も大きな葉を持つ樹種と言われ、長さ87.9cm、幅94cmという記録もあります。葉には粘りのある軟らかい短毛が密生し、6月に葉に先立って紫色の花を多数咲かせます。属名の *Paulownia* は日本植物の研究者シーボルトを援助したオランダのアンナ・パウロウナ(Anna Paulowna、19世紀)女王の名を記念したもので、*tomentosa* は密に細綿毛があるの意です。英名をポローニアと言われヨーロッパやアメリカでは庭木としても植えられています。

日本名のキリの名は「切る」に由来すると言われ、この木を切ればすぐに萌芽し、成長が早いからだと言い、キリの

栽培には無節の長材を得るために台切りをして育てます。

キリ属にはキリ、タイワンギリ(*P. kawakamii*)、ココノエギリ(*P. fortunei*)、チョウセンギリなどがありますが、キリの名がつくものがいくつかあり、アオギリ(*Firmiana simplex* アオギリ科)やハリギリ(*Kalopanax pictus* ウコギ科)イイギリ(*Idesia*

polycarpa イイギリ科)など葉の広いものの総称として用いられたための名前でキリと混同されがちです。

中国では聖王を表す「鳳凰」はキリの木だけに棲むという伝説があり、キリはこの靈鳥の宿り木とされ、平安時代の頃からあがめられ、天皇を始め上流社会の人々の紋章や装飾として用いられています。桐の紋は蕾の数により五三、五七、五四などありますが最も重要視されたのが五七で、現在も皇室では菊紋につぐ印として五七の桐紋が用いられ、また内閣の紋章とされ総理官邸の記者会見の演台にも彫り込まれており、また現行の五百円硬貨の表にも描かれています。

キリの生長は極めて早く15~20年もすると成木となり、家具材として利用できることから昔、農家では女の子が生まれるとキリの苗を二本植え、その子の嫁入りタンスなどを作り嫁がせるという風習があり、その家のキリの大きさを見れば年頃の娘さんがおられることがわかったと言います。

キリ材の年輪は明瞭ですが、心材と辺材の区別はなく、美しい木目と光沢があります。比重は0.27~0.30と国産材で最も軽い木です。ちなみに世界で最も軽い木は模型飛行機などでお馴染みのバルサ(*Ochroma lagopus*)で、比重は0.15~0.2です。キリは燃えにくく、湿気や熱気を防ぐ性質があり、割れや狂いが非常に少なく、切削や接着が容易で磨けば光沢が出ます。こうした優れた性質を持つ良質の木材として古くから重宝され、下駄やタンス、琴などの楽器、火鉢、家具、指物、金庫の内張り、各種箱類、羽子板、人形など、また「キリ炭」は絵画用、花火、火薬合材、カイロ、金属の研磨用に、今は使われなくなったがキリの髓が大きく空洞であることを利用し魚網の浮や水泳プールのレンロープの浮、魚釣りの浮などにも使われていました。このようにキリ材には特殊な性質があるため、幹材だけでなく根株や細い枝まで実に様々な用途があります。(M.S.)



11月園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00
 ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 百合が原と平岡樹芸センターの相談窓口は冬期間はお休みです

◆ シンビジウムの花芽はあがりましたか？ 花芽の出来ない原因と対策

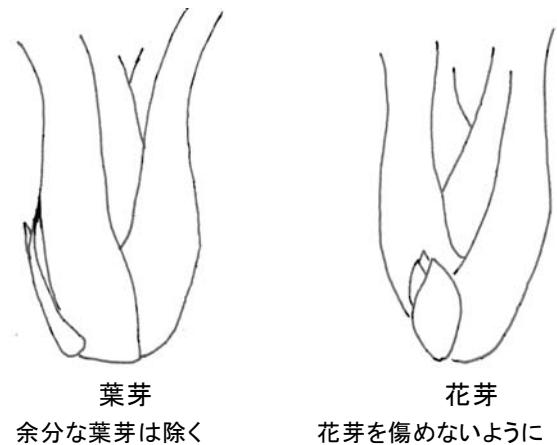
12月に入り待望の豪華な花が見られると期待しながら育ててきたシンビジウム。いまどんな状態でしょう？。花芽ができる花茎が伸び始めている株もあれば、花芽が全く見られずどうしたものか…と悩んでいる株もあるのではないでしょうか。

今回はシンビジウムの花芽ができる理由と対策について考えてみたいと思います。

【葉が元気よく育ち、鉢いっぱいになっているが花芽ができる株】

原因…シンビジウムは9月頃に当年の生長が終わり、開花の準備に入ります。その時期からリード(新芽)が伸び始めますが、その新芽には葉芽と花芽になるものがあり、葉芽を放置すると葉ばかりになり養分が分散され十分にバルブが育たず花芽ができなくなることがあります。

対策…新芽の生育期間を考えると11月から2月にできた新芽は親バルブ1個に1芽だけを残し他の葉芽はその後も全て、葉芽の側面を指で押さえ基部から横に倒してもぎ取ります。その際に間違えて花芽を折らないように注意してください(花芽はふっくらとしていて中に硬い芽がありますが、葉芽は平たく尖っています)。



【上記の芽かきをしているが花芽ができる株】

原因…生长期である4~9月までの置き場所の問題で温度、日光不足、更にこの期間中の施肥や水やりなどの管理上の問題で、リード、リードバルブともに十分に育たず花芽ができません。

対策…新芽(リード)が大きく育ちバルブが充実するためには最低温度が15℃を下回らないことが大切です。シンビジウムは株が大きいので、室内管理では場所をとるため春早くに外に出していませんか？。夜間温度が15℃以上に安定する6月に入ってから外に出し、それまでは15℃以上ある日中は数時間でも外に出して日光と風に当てて健全な株作りをします。

秋は夜間温度が15℃をきるようになったら室内の窓際に移し、日中はよく日に当てます。またシンビジウムは肥料を好むランです。生长期の4~7月までは油粕、骨粉などの置き肥を月1回、洋ラン用の液肥も8月まで週1回与えます。8月中旬からは花芽分化を助けるリン酸分の多い液肥を3~4回与えると良いでしょう。

更に、シンビジウムは水を好みます。6~8月の間、朝夕たっぷりと灌水し、夕方には葉水もしましょう。葉裏にもシャワーをかけてハダニ防除も兼ねます。

株が鉢いっぱいになっている鉢は3月に植え替え、株分けします。

◆植物の雌雄について

高等動物である脊椎動物の大部分は雌雄異体ですが、高等植物である種子植物には被子植物と裸子植物とがありますが、被子植物約17000種のうち両性花(おしべ、めしべを共有)をもつ雌雄同株が最も多く、おおよそ70%12000種、単性花をもつ雌雄異株は約6%10000種、その他は両性花と単性花(雄花と雌花)を共有する雌雄同株で約40000種です。

裸子植物単性花で雌雄同株又は異株でマツ類、ソテツ類、イチョウ類など600種あります。このように、高等植物の大部分は高等動物と異なり雌雄同株なのです。

動植物の形質の決定は主に細胞核中の染色体上にある遺伝子によって行われます。染色体には性を決定する性染色体と雌雄両性に共通の常染色体とがあります。性染色体は動物ではその形状や数から容易に判別できるものが多いのですが、植物では常染色体との違いが判然としないものが多いのですが、雌雄異株のアサやシロバナヘビイチゴの性染色体が明らかなので、性染色体による性が決定されるのがわかります。

アサ(染色体数 20 個)…XY型 雄に性決定要因のある型

(親) (親のつくる配偶子)

♂ $18+XY \rightarrow (9+X)$ と $(9+Y)$ …(2種類の精核をつくりY染色体が雄の要因)♀ $18+XX \rightarrow (9+X)$ …(1種類の卵をつくる)

Y 精核との受精卵が雄株、X 精核との受精卵が雌株となる。



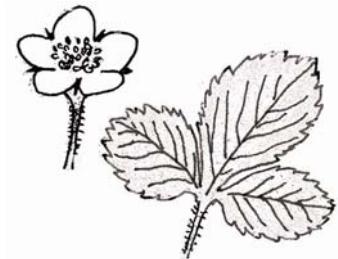
シロバナヘビイチゴ(染色体数 42 個)…ZW型 雌に性決定要因のある型

アサの雄花(左) 雌花(右)

(親) (親のつくる配偶子)

♂ $40+ZZ \rightarrow (20+Z)$ …(1種類の精核をつくる)♀ $40+ZW \rightarrow (20+Z)$ と $(20+W)$ …(2種類の卵をつくりW染色体が雌の要因)

W 卵子の受精卵が雌株、Z 卵子の受精卵が雄株となる。



このように、性の決定は染色体によるものが多いのですが、ヤマブドウのように両性花のおしべが退化して雌花化したもの、反対に雄花化して雌雄異株になったものもあります。

◎雌雄同株——両性花(雌雄同花)サクラ、ボタンなど大部分の植物

単性花(雌雄異花)ウリ類、トウモロコシ、カキ、ミツバアケビなど

◎雌雄異株——单性花(雌雄異花)

常緑樹—アオキ、イチイ、キンモクセイ、ジンチョウゲ、ソテツ、セイヨウヒイラギ、ミヤマビヤクシン、ヤマモモなど

落葉樹—アオダモ、イチョウ、ウルシ、カツラ、サンショウ、ヤナギ、ツルウメモドキ、ハナイカダ、ガンコウラン、ポプラなど

★街路樹としてイチョウが植えられていますが、雌株に実る果実(種子は銀杏)の外種皮(外側の果肉)には強い臭氣があり、また素手で触るとかぶれることもあり、これを防ぐために雄株を用います。ヤナギ、ポプラも雌株の種子に綿毛があり多量に飛散するので雄株を用います。

果樹—サルナシ(コクワ)、キウイ、ヤマブドウなど

★キウイは雄株、雌株を対で植えないと結実しません。

野菜—アスパラガス、ホウレンソウなど

★アスパラガスは秋に赤い実のなる株が雌株、白い小さな花のものが雄株で良品が収穫できるので、農家では雄株を栽培します。

◆ Q & A ◆

Q

ゴールドクレストを暖房のきいた室内で育てていたら、葉がかさかさになって枯れました。

置き場所がよくないのでしょうか。(北区、Mさん)

A

葉が枯れた原因は高温乾燥の室内で過度の湿度不足によるものと思われます。ゴールドクレストは比較的乾燥を好む植物ですが、居間など暖房の効いた室内は極端に乾燥しているので、すぐに葉が乾いてかさかさになってしまい、程度がひどいと枯れてしまいます。高温乾燥による葉枯れの予防としては、置き場所を玄関や暖房を抑えた部屋にして、湿度を保つためできるだけ株全体に霧吹きで葉水を与えてください。こうすることによって葉枯と葉色の悪くなるのを防ぐこともできます。



一方、鉢土内の過湿は嫌うので用土は乾き気味に管理します。水やりは、鉢土の表面が白く乾いてきたらたっぷり与えますが、ほとんどの観葉植物と同様冬は控えめにします。

葉が枯れてしまった場合は、葉枯れの程度によって手当てをします。葉先が枯れた程度なら、茶色く変色した部分だけを切り取り、新芽を吹かせるようにします。下葉が枯れ込んで、上部の葉が残っている場合は、枯れた下葉を落として、スタンダード仕立てにするとよいでしょう。

12月～1月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込開始日	費用・備考
園芸教室				
正月用ミニ盆栽を作ろう	12/15(土)	13:30～	12/11(火)	2,500円
シンビジュムの育て方	1/16(水)	〃	〃	無料
展示会				
リース展	12/4(火)～24(月)		豊平公園花とハーブの会	
クラフト講習会				
自然素材でリースを作ろう	12/6(木)	10:00～ 13:30～	11/11(日)	1,000円
アレンジ押し花講習会「お正月膳支度」	12/20(木)	10:00～	12/11(火)	1,500円
アレンジ押し花講習会「ギフトボックス」	1/17(木)	〃	1/11(金)	1,500円
ガーデニング基礎講座（全6回のシリーズ講座）				
園芸植物の分類、学名、植物の選択など	1/13(日)		12/11(火)	
土と肥料の基礎知識	1/20(日)		300円	
病気と害虫、農薬等の正しい使い方	1/27(日)		13:30～	
草本類の開花生理、灌水、植え替えの基礎など	2/3(日)		12/11(火)	
繁殖・育種の基礎知識	2/10(日)		13:30～	
樹木の生理、選定の理論など	2/17(日)		12/11(火)	

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
外玄関に飾る本格的クリスマスリース	12/7(金)	10:00～	11/11(日)	500円+教材費
冬の鉢花講習会	12/15(土)	〃	12/11(火)	200円
展示会				
植物を使った クリスマスディスプレイ	12/4(火)～24(月祝)		料金 入館料 130円	

その他のイベント

内容	日	会場	お問合せ
モエレのホワイトクリスマス 2007	12/22(土)～24(月)	モエレ沼公園	モエレ沼公園 790-1231
子りす工房「リースづくり」	12/13(木)、16(日)		
子ども向け 子りす工房「クリスマス かざりとまつぼっくりソリーブり」	12/8(土)	西岡公園	西岡公園 582-0050

緑のセンター 年末年始の営業のお知らせ

豊平公園緑のセンターおよび百合が原緑のセンターは12月29日から新年1月3日まで休館いたします。1月4日から平常どおりの営業をいたします。外は寒い雪の世界でも温室では様々な植物を楽しむことができます。皆様のご来館をお待ちしております。

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>